

茨中の授業は実験を通して実際に見て学べるものが多かったです。特に理科実験室は設備が充実していて、生物での解剖や化学・物理の実験はとても貴重な体験になりました。これらの経験は茨高に入ってからより詳細に理科を学んだ時にも役立ちました。他の科目も、先生方のオリジナルテキストなどを使い、楽しく勉強できました。中学生のころから先取りで高校の範囲を学ぶことができるのは茨中ならではのようです。そのため高3のときには演習に、より時間をかけることができます。また放課後や長期休業中に行われる課外の豊富さも茨中・茨高の大きな特徴です。各科目の先生方が内容やレベルに応じて様々なものを用意してくださるので、自分の興味関心や苦手な分野に合わせて選ぶことが出来ます。受験期には志望大学や入試方式に合わせた課外授業も行われました。

僕は中学・高校で継続してサッカー部に所属していました。試合前になると忙しくなることもありましたが、みんなで支え合い、約5年間最後まで続けることが出来ました。テスト週間になると部活の友達と一緒に勉強したことも良い思い出です。高校生のときには県大会出場やリーグ昇格などを果たせたのも嬉しかったです。また中学生と高校生と一緒に練習する機会があることも茨中・茨高の特徴だと思います。僕も中学の部活を引退した後は高校生の練習に入れてもらっていました。レベルが高くついていくのに必死でしたが先輩からアドバイスをもらえると本当に嬉しかったです。他にも文化祭やクラスマッチなどの楽しかった思い出はいくつもあります。僕たちの学年はコロナ感染流行による制限がある中での実施でしたが、みんなと協力して一つのことを進めていくというのは本当に貴重な経験でした。

茨中・茨高の良さは先生と生徒の距離が近いところだと思っています。質問に行くと親身に教えてくださるのはもちろん、普段の学校生活でも声をかけてもらえることがたくさんありました。受験期には担任の先生だけでなく、元担任の先生や各教科の担当の先生にも相談することができ、多くの先生方に勉強面でも精神的な面でも支えていただきました。受験校選択の際にはいろいろな選択肢を提示してもらい、最後まで自分の背中を押していただきました。先生方のサポート無しには自分はここまで来ることはできなかったと思っています。また茨中・茨高は設備がとても充実しています。大きな図書館や2つの体育館、様々な実験ができる理科実験室など、挙げたらきりがありません。ここでしかできない楽しい学校生活が送れると思います。進路指導室には多数の赤本や受験情報誌があり、進路指導の先生方も相談にのってくださるので、ぜひ皆さんにはこの環境を活かして早いうちから自分の将来について考えて、次に繋がる6年間を過ごしてほしいです。

大学進学後は自然環境について様々な面から学び、多くのことを吸収して成長していきたいです。その後の進路はまだ決めていないので、大学での4年間を通して少しずつ考えていこうと思っています。この先大変なことは必ずあると思いますが、その時には茨中・茨高の先生方にもらった前向きなメッセージを思い出して頑張ります。